

## お客様へのメッセージ冊子



この冊子は、お客様に向けたセゾン投信のメンバーの思いや、応援いただいている方々のメッセージを集めたものです。ぜひ、ご一読ください。

下記は必ずお読みください。

この資料は、セゾン投信の役職員ならびに関係者の方々から皆様へ、「メッセージ」の発信を目的として作成したものであり、勧誘を目的とした、セゾン投信の提供する「販売用資料」ではありません。また、金融商品取引法に基づく、開示書類でもありません。したがって投資信託の購入、売却、あるいは保有を推奨するものではありません。

情報については、その正確性、信頼性、安全性等について保証するものではありません。過去のパフォーマンスは、将来のパフォーマンスを推測する指標ではありません。

この情報に関する一切の権利、義務は、その情報提供者（以下「情報提供者」）に帰属します。この情報の内容は、情報提供者の事由により変更されることがあります。

この情報は、閲覧者ご自身のみのものであり、転載、または、第三者への提供は禁止します。

このメッセージに掲載された情報に基づく判断については、閲覧者ご自身の責任の下に行うこととし、万一このメッセージの情報により、閲覧者が損失を被ったとしても、セゾン投信株式会社、ならびにその情報提供者はいかなる損害に対しても一切の責任を負うものではありません。

投資信託の取得を希望される方は、必ず投資信託説明書（交付目論見書）を十分お読みいただき、内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。

商号等	: セゾン投信株式会社
金融商品取引業者	: 関東財務局長（金商）第 349 号
加入協会	: 社団法人投資信託協会
お問い合わせ先	: セゾン投信お客様窓口 TEL03 -3988 -8668 (受付時間 9:00 ~ 17:00 土日祝日、年末年始除く)
	<a href="http://www.saison-am.co.jp">http://www.saison-am.co.jp</a>

2008年7月3日

## 長期投資家仲間へのメッセージ VOL、16

### 21 世紀を先んじる長期投資家

2008 年 7 月 1 日

#### 金融市場は夜明け前

昨夏からのサブプライムショック以降、賑わっていた世界の金融市場は風景が一変しました。サブプライムローンの破綻は米住宅市場のバブル崩壊をもたらし、それらを担保にした複雑な合成証券化商品は取引がなくなり、そうしたリスクを抱え込んだシティグループ・メリルリンチ・UBS といった名だたる米欧大手金融機関は軒並みのけぞるほどの巨額損失処理を余儀なくされました。金融機関が体力を急激にすり減らしたことで彼らは信用供与が続けられなくなり、世界的な信用収縮がおきて先進国企業は自由で前向きな事業展開の足を思い切り引っ張られることになりました。企業が雇用を絞り込むと失業率の高まりと共に個人消費は落ち込み始め、企業業績の悪化と共に下落を続けた株式市場に対し原油などコモディティ・資源価格に投機マネーがシフトし、原材料費高騰によるインフレの亡霊がいまや世界経済に止めを刺そうかという現在の風潮に繋がっているわけです。70 年代の石油ショックにより世界を襲ったスタグフレーションの再来が株式市場低迷の材料になっていますが、当時との世界経済の構造のちがいを見極めれば長期投資家にとってはけっこういい風が吹き始める予兆を感じざるを得ません。70 年代当時は資源価格の跳ね上がりに対し先進諸国が積極財政に走り、結果域内の労働賃金の急上昇が不況下の物価高に繋がってしまいました。しかしながら 21 世紀型グローバル経済下では新興国を生産拠点とする低労働コストが先進国経済のコスト競争を促し、デフインフレ構造が定着する中での資源価格上昇なのです。従って食料・ガソリンといった生活必需品を除く製品価格は巷間思われるほどの価格転嫁が進まず個人消費がけっこう底堅いことに加え、BRIC'S 諸国で 30 億人とも言われる新たな成長享受人口の消費需要が衰えることなく拡大する中で、日米欧グローバル企業が着実にそのビジネスチャンスに成長戦略を持って軸足を載せているという事実があります。地球規模での市場経済の拡大軌道が 21 世紀型世界経済の構造として維持される限りにおいて、総悲観的マインドに揺れ動く世界の株式市場は長期投資家にとっては絶妙の資金投入チャンスであり、地球の実体経済を再び市場が追随し始める時機を楽しみに待っていればいいわけです。IMF(国際通貨基金)の直近の予測では、先進国の 08 年実質成長率は 1.3%に落ち込みますが新興国は 6.7%の成長が見込まれる、これが地球の実体経済の姿なのです。

#### 富の移転とインフレ

21 世紀型グローバル経済の構造定着によって、地球上で経済成長に浴する人々の数は劇的に拡大することになりました。20 世紀は先進国内のみで享受されてきた成長の恩恵に今やその何倍もの人間が係わることになったことで、量的成長・多消費成長が世界レベルで顕在化し資源・エネルギーを柱とするコモディティ市況が高騰する要因となっています。殊に近代文明のエネルギー源である化石燃料・鉱物資源は従前より有限性が指摘されてきましたが、21 世紀に入り新興国による需要の急拡大により食料・水まで含めあらゆる大地の恵みが枯渇リスクとして認識されたことによるコモディティ価格急騰は世界経済全体にインフレ旋風を吹き起こし始めています。原油は 140 ドルを突破し様々な分野で物価上昇に繋がる一方、消費国から産油国への所得流出は現状レベルで 200 兆円を超えるといわれています。こうした資源国への富の移転による余剰マネーは金融市場に還流してきます。サブプライムショック以降この巨額の富は未曾有の運用難に直面しています。そして世界全体にすっかり安くなった株式市場に向かうであろうことは容易に推察できるはずで

実体経済に大きく乖離して下落した株式市場の世界的大転換の前兆を感じぬわけにはいきません。株式市場への資金還流と期を同じくして、資源価格のバブルは収斂していくことでしょう。資源価格が落ち着けば、ハイパーインフレの芽は急速に萎んでいきます。但し中長期的な資源不足問題がある限り、21世紀型ディスインフレ構造と資源争奪戦の綱引きでこれから先はインフレ基調の流れが継続することにはなるでしょう。

### 「環境」と日本の出番

新興大国による資源消費の劇的な増大は、資源不足問題と同時に地球温暖化に代表される地球環境悪化問題として人類の文明存続にかかわる危機感を喚起させ、経済成長に環境対応が不可欠な喫緊の課題としてクローズアップされています。今後の経済活動には「環境」という要素が否応なくビルトインされ、あらゆる産業にコストプッシュとなることは確実です。北海道洞爺湖サミットでも主題となった「環境」は21世紀の国家戦略上も政治的イニシアチブの重要な切り札となりますが、グローバル経済においても省エネ・省資源・代替エネルギーといった観点からの対応技術を早期にかつハイレベルで実用化した企業がデファクトスタンダードを勝ち取りその市場の勝者となるであろうという前提の基、環境技術の命運を賭けた開発競争が激化していきます。「環境」は21世紀型経済成長最大のテーマと言っていいでしょう。既に技術を蓄えている先進国に対し、新興国にとっては莫大な付加コストが今後発生していくことは間違いありません。先進国企業にとってはその技術移転が新興国市場での市場獲得の強力な武器となり、同時に莫大な収益獲得の機会ともなるのです。これまで新興国の経済発展に伴って先進国から移転された莫大な富が「環境」コストによって先進国側に還元されてくるという、構造変化への壮大な仮説が立てられます。こうした「環境」ステージの本格化において、先進国の中で圧倒的に優位にあるのが日本です。日本の高品質な最先端の環境技術が、グローバル競争における最強の武器になることがいよいよ見えてきました。これからはしばらくの間、経済活動において「環境」が何よりの正義となる時代に至りました。90年代のバブル崩壊以降20年近く調整を続けてきた日本経済の、世界における出番が再び訪れたのです。

### 長期投資家は次世代を見据えて

20世紀は冷戦終結までが戦争の世紀であったと言えます。また近代工業化社会が先進国で成熟していく過程での大量生産・大量消費社会であったとも言えるでしょう。そうした価値観の中では効率と合理性が重んじられ、規格化・大型化にひたすら邁進した時代でもあったと考えられます。一方21世紀は平和な地球を前提とした歴史上初めての地球一体となった経済活動が可能となり、世界経済は地球を単位として共通の経済基盤の基で活動できるようになりました。そうした基本構造から導き出されるであろうテーマは、人類全体に亘る成長・構造的ディスインフレ・資源インフレ・そして人類が初めて未来への存続に警鐘を覚えたことによる「環境」といった処でしょうか。国際政治の舞台でも共生・一体の繁栄・そして良い社会の構築といった観点からのキャッチボールが始まったと感じられます。それは人類の存続・地球の荒廃といった抜本的問題に直面したことによって、世界が次の世代に繋げる生きとし生けるものとしての責務に思い及んだからなのではないでしょうか。長期投資家はそうした21世紀社会の規範となるべき行動を先んじて起こしているのです。今しばらく混沌は続くでしょうが、やがて定まる21世紀世界が共有する価値観に沿って、私たち長期投資家はゆっつりのんびりと次世代に向けた行動で一步先を行き、そこから幸せを感じて歩んで参りましょう。

セゾン投信株式会社  
代表取締役社長 中野晴啓

## セゾン投信の矜持

かいたく投信株式会社  
代表取締役 森本 新児

「感性の経営」 この言葉はかつてアートと文化を前面に打ち出し、躍進したセゾングループの経営を指していわれた言葉だそうです。今でも、セゾンにはそのカルチャーが残されており、旧セゾングループにはユニークな雑貨店「ロフト」、無印良品で知られる「良品計画」、センスの良い音楽と番組を発信しているFMラジオ局「J-wave」、アート色の強いデパート「パルコ」などキラリと光る会社が並びます。

セゾン投信は、その感性の系譜を引き継ぎながら、合理性と顧客志向を徹底追及した会社として世に出ました。

米国バンガード社とさわかみ投信。いずれも日米の投資家から支持されているシンプルでパワフルな哲学を持つ投資信託を投資対象にして、とびっきり低コストの投資信託を設定し、世に送り出すや否や、世間からの圧倒的な支持を受けました。聞いた話では、設定当初は口座開設が間に合わずスタッフは毎日終電近くだったそうです。その後も口座開設数は順調に伸び続け、2008年6月現在では、その数は30,000口座に迫る勢いです。

驚くのは、この数字が販売会社を通さない「直接販売」によって達成されていること。

昨年、米国に端を発したサブプライムローン問題をきっかけに世界の資本市場は、景気後退を続けておりますが、セゾン投信のファンド保有者は、そんなことに意を介さず、自らの手で資料請求をして口座開設をされているのです。これがどれだけすごいことか。

これは単に人気のファンドを集め、低コストで設定したからできたことなのでしょうか？

セゾンというブランド力があるからゆえの結果でしょうか？

もちろんその側面もあると思います。

でも、その原動力はもっと深いところにあると思うのです。それは何か？

それは、長期投資を貫く本物の投資信託を出来るだけ低コストでお届けするんだ、という明快で力強いメッセージが、働きざかりの世代の心に届いたからではないでしょうか。

今までどの金融機関もペイしないという理由で手掛けなかった販売手数料なし・月々5,000円から積立できる投資信託を設定し、働き盛りの生活者層に対し、中野社長自らが、愚直に全国で大小のセミナーを開催し、その志を伝えています。

これはかつての金融機関がどこもやらなかったことでした。

手間がかかる。時間がかかる。儲からない。

しかしセゾンはそこを本気で切り拓きました。

これこそがセゾン投信の矜持を現しており、だからこそ、投資家に圧倒的な支持をされている。

感性と合理性に加え、パッション（情熱）が投資家に受け止められた結果だと思います。

もちろん、前途は洋洋としているわけではありません。

競合他社は、セゾン投信の成功にあやかろうと同じようなコンセプトでコストの低い投信を投入してきました。また、信託報酬を非常に低く設定したため、会社の損益分岐点売上高はずいぶん高い水準になっていると思います。

しかし株主（クレディセゾン）と経営者（中野社長）とスタッフのみなさんが力を合わせ、一部の金持ちのためにあった投資を、市井（しせい）に生きる個人のところにもって来るんだという理念を愚直に実践する限り、投資家はセゾン投信をきっと受け入れ続けてくれるでしょう。

中野社長とセミナーで一緒したとき、セゾン投信の将来の夢は何ですか？という投資家からの質問に、真面目な顔をして答えていたお言葉が印象的でした。

「バンガードのような真に顧客本位のローコストな投資信託を、セゾンからつくること。」

セゾン投信がバンガードのようになる？ 笑いごとでしょうか？ 絵空事でしょうか？

少なくとも私は絵空事だとは思っていません。むしろ強く信じています。

私たち一人ひとりが長期投資を通じて、豊かで希望に満ちた明日になることを信じることの総体が、不可能を可能に変えていきます。

昨日と今日は変わらなくても、未来への絶え間ない希望がある限り、明日は大きく変わります。それを一番強く信じているのがファンド仲間であり、中野さんや澤上さんをはじめとした私たち独立系の投信です。

市井に暮らす一人ひとりが豊かで幸せに満ちた未来を信じ、壮大な旅を共に歩んでいきたいものです。

#### 執筆者プロフィール

森本新児（もりもと・しんじ）

かいたく投信代表取締役

スカンディア生命保険、東京海上日動ファイナンシャル生命保険にて金融機関向け業務に従事。投資運用知識を活かした組入れ投信の組成アドバイスを行う。10年以上にわたる販売支援や教育業務を経験するなか、働き盛りの世代を対象とする本格的な投資信託が日本にほとんど存在していないことを痛感、長期投資にフォーカスした投資信託を提供するため2007年2月かいたく投信株式会社を設立。

## セゾン投信の素顔

既に口座の開設をいただいた方含め、我々の取組みに興味や関心を持って見守っていただいている方へのメッセージ発信の場として「セゾン投信の素顔」を掲載しております。

ここでは、セゾン投信で働くメンバーが日々感じたり考えたりしていることを紹介しています。セゾン投信で熱い思いを抱いて働いている私たちの人となりを少しでも感じていただければ幸いです。

「独善的教育が逸材を生むのか」

チェロ奏者で指揮者であった「斉藤秀雄」の生涯を綴った一冊の本に出会った。

ドイツ留学でチェロを学び、日本で初めて指揮方法を理論的に体系化した人、桐朋学園音楽部の原点である「子供のための音楽教室」を同志と創設し、生徒やその両親に対しても一切の妥協を許さず、厳しい指導で日本を代表する音楽家を育てた人です。指揮の山本直純、小澤征爾、秋山和慶、岩城宏之、チェロの堤剛、ピアノの中村紘子、ヴィオラの今井信子、バイオリンの潮田益子などなどその門下生の顔ぶれから斉藤秀雄の教育の凄さがわかります。さぞかし生徒に慕われた先生であったと思いきや、事實は逆で生徒の演奏がまずいと眼鏡を叩きつけて踏んづけたり、指揮のレッスンを受けていたころ、斉藤の怒りに触れた小澤は靴もはかずに飛び出し、裸足のまま家へ帰ったこともあったという。

生徒の機嫌をとり、父兄の声におもねりながらの無難な教育方法では、それなりの人材しか生み出さない。強い自信と信念に裏打ちされた独善的ともいえる指導教育こそが、多くの逸材を生み出した力の源泉なのでしょう。

彼を記念したサイトウ・キネン・フェスティバル松本（総監督小澤征爾）が今年も8月から9月にかけて長野県松本市で開催される。小澤が元気なうちに行ってみたい。

相馬 正明

「来年こそ、東京マラソン！」

いよいよ待ちに待った「東京マラソン 2009」の参加者受付が7月7日から始まる！

今回で3回目だが、本番は年明けの3月22日（日）。なかなか人気が高く、過去二回は出走できる数約3万人に対し、応募者が約10万人弱とかなり狭き門だった。で私も2回ともに落選(ToT)/ ~。あ~来年こそは、あの銀座を、浅草を走りたい！

えっ、あなたは「42km走るヤツの気がしれない？」。そうですね。そんな方がもっと増えることを望みます！？

緒方 健三

「本気が心を動かす」

渋谷でコクーン歌舞伎を観ました。江戸時代の芝居小屋の雰囲気再現し、「夏祭浪花鑑」という古典をベースにしながらも、伝統文化の所作・作法と近代舞台演劇のエッセンスを見事に融合させ、パリ公演での喝采を渋谷の地にももたらしてくれました。勘三郎率いる平成中村座のメンバーたちが、皆ひたむきに世界へ向けて日本文化の情報発信を続ける姿、本気の熱い思いこそが人々の心を動かすのです。

中野 晴啓

「夏のごあいさつ」

“夏バテにならぬよう、ご自愛の程お祈り申し上げます。”

高山 洋志

「運用祭り」

先日セゾン投信が組入れるアクティブファンドの運用担当者の方々にお集まりいただき「運用祭り」と題したセミナーを東京で開催しました。インデックス運用をテーマにしたセミナーは何度か開催しているものの、アクティブ運用をテーマにしたセミナーは今回が初めて。講師の皆さんの発言を聞くと、各人の運用哲学や思いなどが醸し出され、長期投資のアクティブ運用と一言でいっても、その考え方の細部は異なり、非常に奥が深いように思われました。人に性格があり、会社に社風があるようにファンドにも定量でははかりきれない商品特性というものがあるんだなあと感じたセミナーでした。

運用手法や運用商品は多種多様ですが、自分との「相性」も大事な要素のひとつとして、納得できる投資先を見つけないといけません。

佐藤 恭子

## セミナー情報

### 小心者のための投資入門【東京】

2008年7月18日(金) 19:00~20:40(開場:18:30)

会場:ベルサール神田 Room5(住所:東京都千代田区神田美土代町7 住友不動産神田ビル3F)

定員:30名(先着順)

費用:無料

プログラム

講演 「投資家になるための、生命保険の見直し方」

講師 池上秀司氏(ファイナンシャル・プランナー)

講演 「月々5,000円で投資家の仲間入り!」

講師 中野晴啓(セゾン投信社長)

質疑応答

### 自分にあった投資スタイルを見つけるマネー講座【札幌】

2008年7月20日(日) 13:30~16:30(開場:13:00)

会場:札幌西武 ロフト7階=五番館赤れんがホール(住所:北海道札幌市中央区北四条西3丁目)

定員:180名(先着順)

費用:無料

プログラム

第1部 講演

テーマ 長期投資で実現する輝く未来

講師 澤上篤人氏(さわかみ投信株式会社 代表取締役)

第2部 パネルディスカッション

出演者 澤上篤人氏(同上)

藤沢久美氏(シンクタンク・ソフィアバンク 副代表)

中野晴啓(セゾン投信社長)

### セゾン投信が運用する商品について【オンラインセミナー】

2008年7月22日(火) 20:00~21:00

講師:当社運用部長

定員:50名(先着順)

費用:無料

受講方法:セゾン投信ホームページ「セミナー情報」に当日アクセスしてください。

### 生活者のための簡単で有効な投資法【東京】

2008年7月25日(金) 19:00~20:30(開場:18:30)

会場:ココデンカ・エスタ青山(住所:東京都港区南青山2-24-15 青山タワービル13F)

定員:35名(先着順)

費用:無料

プログラム

講演 生活者のための簡単で有効な投資法

講師 加藤 隆氏(バンガード・グループ 駐日代表)

質疑応答

講師 加藤 隆氏(同上)

中野晴啓(同上)

セミナーの詳細、お申込につきましては当社ホームページから「セミナー情報」をご覧ください。

URL <http://www.saison-am.co.jp>

セミナーに関するお問合せ先

セゾン投信お客様窓口 TEL 03-3988-8668(9:00~17:00 土日祝、年末年始を除く)



**<セゾン投信役職員が講師として参加予定のセミナー>**

2008年8月10日(日) 14:00~17:30(開場:13:30)

会場:ウエストプラザ 5F(住所:広島市中区紙屋町2-2-2)

定員:50名(先着順)

会費:1,000円(セミナーのみ) 1,500円(セミナーと茶話会)

**プログラム**

第1部 講演 「私と長期投資」

講師 森本新児氏(かいたく投信株式会社 代表取締役) 中野晴啓(セゾン投信社長)

第2部 パネルディスカッションとQ&A

出演者 森本新児氏(同上) 中野晴啓(同上)

コーディネーター 佐々木 愛(ファイナンシャル・プランナー)

本セミナーの主催・お問合わせ・お申込み

参加ご希望の方はお電話または下記内容をご記入のうえ下記までe-mailかFAXでお申してください。

担当:佐々木様

TEL:080-5236-4180 FAX:082-814-9771 e-mail:life-support-net@agate.plala.or.jp

1)お名前 2)ご住所 3)お電話番号 4)茶話会参加有無

詳しくは当社ホームページから「セミナー情報」をご覧ください。

**ご留意事項**

上記セミナーにおきまして、セゾン投信が設定、運用、販売を行う投資信託の勧誘を行うことがあります。投資信託は値動きのある有価証券等に投資しますので基準価額は変動します。その結果、購入時の価額を下回ることもあります。また、投資信託は、銘柄ごとに設定された信託報酬等の諸経費がかかります。各投資信託のリスク、費用については投資信託説明書(交付目論見書)に詳しく記載されております。ご購入に際しては、必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認いただき、ご自身でご判断ください。

**よくあるご質問**

Q:定期積立プランを新規で申込みたいのですが、初回の引落が始まるまで期間を教えてください。

A:定期積立プランを新規でお申込みいただいた場合以下のスケジュールとなります。

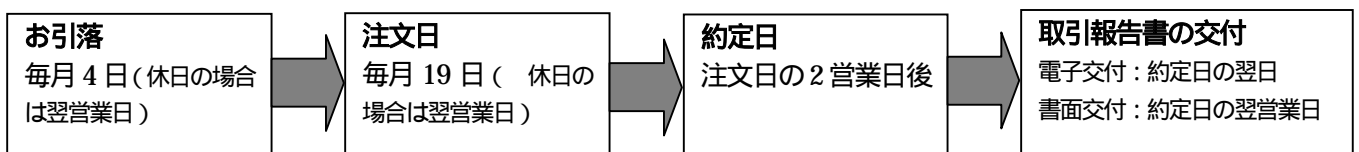
当社への申込書の到着時期	初回引落開始月
毎月20日(休日の場合は前営業日)まで	翌々月の4日
毎月21日以降	翌々々月の4日

初回引落月の約1ヶ月前に『定期積立プラン』引落開始のお知らせ』をお送りいたします。

送付いただきました申込書に不備箇所がございますと上記スケジュールで引落を開始できませんのであらかじめご了承ください。

Q:定期積立プランでの引落からファンドの買付までのスケジュールを教えてください。

A:定期積立プランでのお引落からファンドの買付までスケジュールは以下になります。



信託約款にて定める申込不可日(海外休日等)の場合も翌営業日のご注文となります。

Q：定期積立プランの金額等を変更する方法を教えてください。

A：定期積立プランの毎月の引落額や特定月の引落金額を変更するには「定期積立プラン変更届」(書面)をご提出いただく必要がございます。

変更届は以下のいずれかの方法でご請求ください。

セゾン投信ネット取引にログインし書類請求していただく方法

「ログイン」「口座管理」「登録情報一覧・書類請求」「各種書類請求」へ進み「定期積立プラン 変更届」をご請求ください。

【お急ぎの場合】お客様ご自身で印刷していただく方法

「セゾン投信トップページ」「ご利用の手引き・各種変更のご案内」「各種変更届」へ進み、「定期積立プラン変更届(PDFファイル)」をクリックし印刷することができます。

お電話でご請求いただく方法

下記お客様窓口までご連絡ください。

<引落金額の変更が反映する時期について>

当社への申込書到着時期	変更が反映される時期
毎月15日(休日の場合は前営業日)まで	翌月4日のお引落から
毎月16日以降	翌々月4日のお引落から

ご送付いただきました申込書に不備箇所がございますと上記スケジュールで変更できない場合がございますのであらかじめご了承ください。

<お問合せ先> セゾン投信お客様窓口

TEL：03-3988-8668(9:00~17:00 土日祝、年末年始を除く)

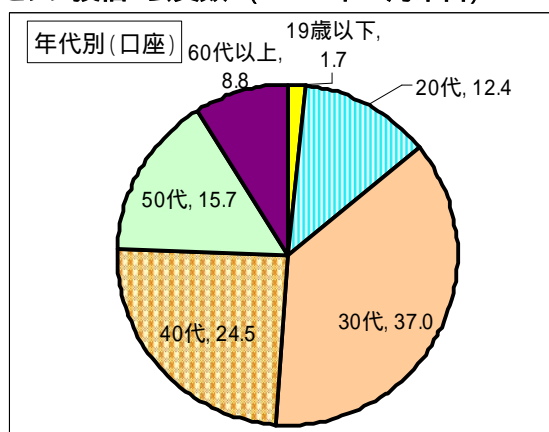
買付・解約 受付不可日のお知らせ(2008年7月3日~9月末日)

下記は2008年7月3日現在の当社取扱いファンドの休日(海外休日等)の情報です。当該海外休日等は日本の営業日の場合でも、信託約款に定める申込不可日としてご注文を受付することができません。当該海外休日等にいただいたご注文は、「翌営業日」を注文日として承ります。

下記は信頼できると思われる資料に基づいて作成されていますが、その正確さや完全さに対する責任を当社が負うものではありません。各地の休業日は都合により変更されることがあり、下記もこれを反映すべく予告なしに変更される場合がありますので予めご了承下さい。

セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド	7/4(金) 8/4(月) 9/1(月)
セゾン資産形成の達人ファンド	7/4(金) 8/4(月) 8/25(月) 9/1(月)

セゾン投信 会員数(2008年6月末日)



27,894 口座

TOPICS:

今月は1,285名の方に当社の口座を新たに開設いただきました。毎月毎月、続々と大勢の方に口座開設のお申し込みをいただけることに感謝いたします。定期積立サービスのご利用も65%を超える方にご利用いただいております。

法人口座データ除く

## 当社のファンドに係るリスクについて

当社の運用、販売するファンド（以下、当ファンド）はファンド・オブ・ファンズであり、主として投資信託証券に投資を行います。当ファンドは、株式や公社債を実質的な主要投資対象としており、株式や公社債の投資に係る価格変動リスクを伴います。一般に、株式の価格は個々の企業の活動や業績、市場・経済の状況等を反映して変動し、また、公社債の価格は市場金利の変動等を受けて変動するため、当ファンドはその影響を受け、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また当ファンドは外貨建資産に投資し、原則として為替ヘッジを行いませんので、為替変動の影響を受け、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。

したがって、ご投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金が割り込むことがあります。

当ファンドの基準価額の変動要因としては、主に「価格変動リスク」や「為替変動リスク」、「カントリーリスク」、「信用リスク」、「流動性リスク」などがあります。

詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

## 当社のファンドに係る費用について

お客様には以下の費用をご負担いただきます。

### <セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド>

#### 申込時に係る費用

申込手数料はかかりません。

#### 解約時に係る費用

解約手数料はかかりません。なお、解約受付日の翌々営業日の基準価額に対して0.1%の信託財産留保額が控除されます。

#### 保管期間中に間接的にご負担いただく費用

##### 信託報酬

ファンドの純資産総額に年0.4935%（税抜0.47%）の率を乗じて得た額とします。その他投資対象である投資信託証券において信託報酬がかかります。当該信託報酬も間接的に受益者の方にご負担いただく費用となりますので、実質的な信託報酬は、年0.77%±0.02%（概算）となります。

##### その他費用

信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用（有価証券の売買の際に発生する手数料や、有価証券の保管に要する費用等を含む）監査報酬（消費税含む）立替金の利息等が信託財産の中から差し引かれます。なお、当該その他費用については、運用状況により変動するものであり、事前に計算方法、上限額等を示すことが出来ません。

詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

### <セゾン資産形成の達人ファンド>

#### 申込時に係る費用

申込手数料はかかりません。

#### 解約時に係る費用

解約手数料はかかりません。なお、解約受付日の翌々営業日の基準価額に対して0.1%の信託財産留保額が控除されます。

#### 保管期間中に間接的にご負担いただく費用

##### 信託報酬

ファンドの純資産総額に年0.567%（税抜0.54%）の率を乗じて得た額とします。その他投資対象である投資信託証券において信託報酬がかかります。当該信託報酬も間接的に受益者の方にご負担いただく費用となりますので、実質的な信託報酬は、年1.3%±0.2%（概算）となります。

##### その他費用

信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用（有価証券の売買の際に発生する手数料や、有価証券の保管に要する費用等を含む）監査報酬（消費税含む）立替金の利息等が信託財産の中から差し引かれます。なお、当該その他費用については、運用状況により変動するものであり、事前に計算方法、上限額等を示すことが出来ません。

詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。